

令和6年度 三次市立川地小学校だより



高こうし志

よく考える子
かかわりあう子
自ら行動する子

学校教育目標：ふるさとを愛し、夢の実現に向けて主体的に行動する児童の育成

がんばった「自分」や「友達」をほめること

《No. 10》
令和6年12月23日

2学期当初は連日の猛暑で「秋はないのでは？」というお天気が続きましたが、11月後半から一気に冬モードになりましたね。

さて、今日は終業式でした。2学期も、さまざまな学習や行事で充実した活動をしてきた子供たちでしたが、終業式の中でそのふりかえりをしてみました。「自分ががんばったこと」「できるようになったこと」「うれしかったこと」などを思い出して、自分自身に「よくやった！」と声をかけていくと共に、友達に話して、友達から「すごいね!」「すばらしい!」とほめてもらう。そんな取組をしてきました。自分のやってきたことを自らほめることで「自己肯定感（自分自身で自分を肯定する）」を高めると共に、友達からもほめてもらうことで「自己有用感（友達からの言葉から自分を肯定していく）」も高めていくことをねらいました。



2学期のふりかえりをしっかりと行ったあとには、3学期（1年のまとめ）の目標を考えていきます。ご家庭でも、子供たちのがんばりをしっかりとほめていただき、一緒に3学期にがんばる目標を考えてみてください。

子供たちのためにいろいろなご協力をいただき、ありがとうございました。来年も引き続きよろしく願いいたします。

ありがとうございました！



川地放課後子ども教室保護者会様から ポータブルスピーカー・デジタルフォトフレーム・上腕式電

気血圧計・パルスオキシメーター・液晶モニターを寄贈していただきました。保護者会の積立金を「子供たちのために有効活用してほしい」という申し出をいただき、学校予算では買うことのできなかった物品を寄贈していただくことになりました。（夏休みには遊具のペンキ塗りもしていただきました!）

さっそくデジタルフォトフレームは玄関前に設置して、子供たちの活動の記録をフォトムービーとして流しています。25

日（水）の期末懇談会に来られた際にはぜひご覧ください。そのほかのものについても、今後しっかりと活用させていただきます。ありがとうございました！



2学期の「自学」パワーアップ!

これまでも「自学」の取組を学校だよりで紹介させていただきました。2学期も終わりということで、少しふりかえりをしてみたいと思います。

「自学」については、本当に内容が充実してきました。教科の枠にとらわれず、自分が「知りたいこと」「ふしぎに思っていること」「伝えたいこと」を、個性豊かに表現してくれています。

その中で、感動した1つを紹介します。6年生児童の「川地の魅力」という「自学」です。彼女が見つけた「川地の魅力」とはどんなものだったかということ…。



- みんな仲よし川地
- 夏になると近所の人が野菜をくれる
- 挨拶絶えない
- 治安が良い
- 動物がいっぱい
- 先生が優しい
- 自然豊富
- 自給自足
- みんな元気
- 落ち着く
- 車が止まってくれる
- みんな優しい
- 全員の名前を覚えてくれる 「おばあちゃん 笑顔と野菜を おすそわけ」

いかがですか?これらの言葉一つ一つを読むと、学校教育目標の「ふるさとを愛し、夢の実現に向けて主体的に行動する児童の育成」がすでに達成できていると言えますね。

さらに最近では、先生への問題を作って「解いてみてください」と問いかけてみたり、「○○について調べてみたらいいよ」など書いたコメントに対してさらに発展させた「自学」に取り組んでみたりなど、「自学を通して双方向の交流「対話」ができています。「自学」のレベルが一段と高くなってきていると感じています。

また、11月の「川地ふる里まつり」において「自学」の展示を行い、地域の方にも見ていただいて貴重なご意見をいただきました。これも、「地域への情報発信」という意味では大きな成果となったと思います。

冬休みは約2週間と短いですが、ぜひ「自学」に取り組んでほしいと思っています。「自学」はノートに書くだけの学習ではないので、例えば、年末年始の行事に関わることをやってみる(大掃除やお正月の準備など)のもいいですし、料理作りにチャレンジしてみたりなど、自分の興味をさらに伸ばす休みならではの「学び」ができるといいなと思っています。ご家庭でもいろいろな機会にアドバイスをお願いします。そして、3学期には一段とパワーアップした「自学」を見ることを楽しみにしています!

